

報 告 書

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員 横田川 真人

島田市議会議員 大関 衣世

島田市議会議員 森 伸一

島田市議会議員 曾根 達裕

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和6年5月18日（土）  
午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 北部ふれあいセンター コミュニティホール
- 3 参加者数 13人（男性12人、女性1人）
- 4 役割
  - (1) 受付 全員
  - (2) 司会 大関
  - (3) 挨拶（概要） 横田川
  - (4) 報告 厚生教育常任委員会 森  
経済建設常任委員会 大関  
総務生活常任委員会 曾根
  - (5) 答弁 全員
  - (6) 記録 曾根

## 5 報告事項

### (1) 議会活動の報告について

#### ①厚生教育常任委員会

令和6年度一般会計予算のうち、安全安心な学校給食の提供については、給食の原材料費の価格高騰は今後の課題であり、島田市全体で3千万円位の増となる。今年度は国からの交付金で賄える。

重層的支援体制整備事業について、地域共生社会とは、地域住民が我が事として参画し、人と人が世代や分野を超え地域づくりを行う。体制を支援する包括的な相談窓口を設置する。

子ども家庭センターについて、登校拒否や引きこもりなどの対応に力を入れる窓口を設置した旨を報告した。

今年度から介護保険が新しく改正となり、今まで平均年59,500円が6万円となり、年間で500円値上げとなったが、低所得者や高所得者との関係等について議論したことを報告した。

#### ②経済建設常任委員会

令和6年度一般会計予算のうち、姉妹都市訪問団派遣について、7年ぶりにスイス・ブリエンツに市長や学生使節4人を派遣する旅費の補助を予算に組んだ。訪問日程は8月18日から26日の予定である。

森林環境税について、令和6年度から国税として、個人住民税に併せ1人年額1,000円の徴収が始まる。見返りとして国から各自治体へ森林環境譲与税として与えられ、森林の保全や整備に活用される。

プレミアム付きデジタル商品券事業について、物価高騰の対策として、国のデフレ脱却、経済対策で、島田市へは2億円が交付され、このうち8,500万円で事業を行う。5,000円分を4,000円で販売、対象店舗は500を予定し、6月に店舗を募集、利用は11月から翌年1月となる。デジタル商品券であり、高齢者の方に使い勝手のいいように説明や案内をしていけるように議論した。

空き家対策について、令和6年度に市内全域で実態調査、7年度に計画作成、8年度に計画の施行となっていることを報告した。

川越遺跡整備事業については、令和2年度から整備を行っており、5年度は土色の舗装整備を行い、風情がある雰囲気の色になった。6年度は川会所を元あった場所に戻す移築の設計事業を行うことを報告した。

### ③総務生活常任委員会

令和6年度一般会計予算のうち、シティプロモーション推進事業については、令和5年9月定例会において、観光誘客・移住定住・魅力発信・茶業の販路拡大等、島田市の情報発信事業を進めることを提言したことから、令和6年度の予算に計上された。緑茶緑日を東京駅構内イベントスペースで7月2日から8日まで開催が決定した。

次に移住定住促進事業については、島田市に移住を検討している方に情報を広く発信する移住ポータルサイトの運営事業で、動画再生回数は130万回を超えており、成果が期待される事業であることを報告した。

消防団活動経費については、重要な消防団員の慢性的な定員不足の要員であると考えられる各種の訓練を見直すことから、団員の負担を減し、団員確保につなげるよう意見を述べたことを報告した。

常任委員会では、条例改正について、今まで印鑑証明を交付の際に印鑑登録証の提出が必要であったがマイナンバーカードのみで可能になるように条例を改正した。

旧金谷中学校跡地活用事業については、トレーラーハウス事業を提案し事業を進める事業者が、県の開発行為の手続き、許認可の手続きを進めている。市としては事業者と連携をしながら道路整備などの環境整備を支援しているとの報告を確認している。

### ④報告に対する質疑 なし

## (2)意見及び情報の交換について、

### 今回のテーマ 「北部4校の今後」

大関議員より北部4校の現状について以下のとおり報告し、参加者の意見を伺った。

- 旧伊太小 ・優先交渉権者との協議中。
  - ・令和6年度：放課後児童クラブ及び伊太体育館(社会体育施設)として使用。
- 旧相賀小 ・埋蔵文化財センター及び相賀体育館(社会体育施設)
  - ・令和6年度：埋蔵文化財センターに向けた改修。
- 旧神座小 ・公募型プロポーザル方式による提案を求めたが、至っていない。
  - ・今後、サウンディング調査の内容を踏まえて方針を検討。
- 旧伊久美小 ・優先交渉権者と協議中。
  - ・事業提案者の当初の事業内容に変更が生じたため、事業提案者を呼んで再度審議を予定。

- Q 行政として北部地域の災害時避難所をどのように考えているのか伺う。
- A 4校とも基本的には災害時の避難所としての機能を残すように行政に要望している。
- Q 北部4校の建物、グラウンドを避難所として残してほしい。グラウンドをヘリポートして使用できないか。
- A 湯日小学校の事例だが、グラウンド部分には全部テントが掛かっているが、体育館はそのまま使える状態で、避難所として活用できる。伊久美小学校がキャンプ場になった場合は、恐らくヘリコプターを少し着陸させるのはあるかなと思う。
- Q 旧神座小へはどのような応募があったのか教えてほしい。
- A 北部4校について事業を募集した際、県道沿いで交通の便もいいとのこととで神座小が一番人気であったということは承知しているが、事業者名・事業内容は行政より知らされていない。
- Q 小学校に入りやすい環境整備を、周辺の土地を買うことも検討してインフラ整備をお願いしたい。
- A 2年にわたり事業者から応募がないことについて、行政としても環境等のインフラ整備もチェックする必要がある。
- Q 第一小学校に通学を始めた子どもたちの様子について伺う。不登校とか友達にはできたのか等、北中では不登校が多いと聞いたが、状況を保護者が必配している。
- A 教育委員会に状況を確認しお答えする。
- Q 神座地区で朝の登校見守りをしている。声を掛けるとみんな元気に友達もできたよと言ってくれるのでうれしい。その子どもたちが乗る通学バスの乗降場について危ない箇所がある。交通量が多い、川が近い、屋根がなく雨の日は心配になるので、教育委員会に伝えてほしい。
- A ご家族の方に要望を聞き取りたい。当局に見回りをしてもらおう。例として、乗降場を北部ふれあいセンター内に変更できないか要望する。
- Q 伊久美小学校跡地利用優先交渉権者の事業が2月議会に上程されなかった

経緯について伺う。

A 事業提案者の当初の事業内容に変更が生じたため。

Q 伊久美自治会からの要望

- ・事業経営に伊久美から代表を入れてほしい。
- ・地元の人を NPO のメンバーに入れ、地元と組んでほしい。
- ・事業期間が 30 年は長い。3 年とにならないか。
- ・事業報告と計画を毎年提出してほしい。
- ・この事業が地元の活性化につながるよう進めてほしい。

### (3) 市等への要望事項

Q 伊久美地区において、携帯電話の電波が弱いので災害時に不安に感じる。対策を要望する。

A 危機管理課と対応を協議する。

Q リニアの水問題について議会としての対応を知りたい。市長と一緒に頑張ってリニア水問題に取り組んでほしい。

A 議会としての判断はない。議員個人の判断で質問をしている。

Q スクールバスの現状について、問題点の聞き取りをしてほしい。

A 個別案件を把握するためのアンケートなどを実施するよう、当局に伝える。

## 6 まとめ（所見）

今回の議会報告会は、土曜日の午後 7 時からの開催としたが、参加人数は期待していたより少なく残念であった。

意見交換テーマを「北部 4 校の今後」としたので、参加者は、旧神座小と旧伊久美小に関係する方が多く、各小学校の建物や跡地利用について地元と意見交換ができ、大変有意義であった。